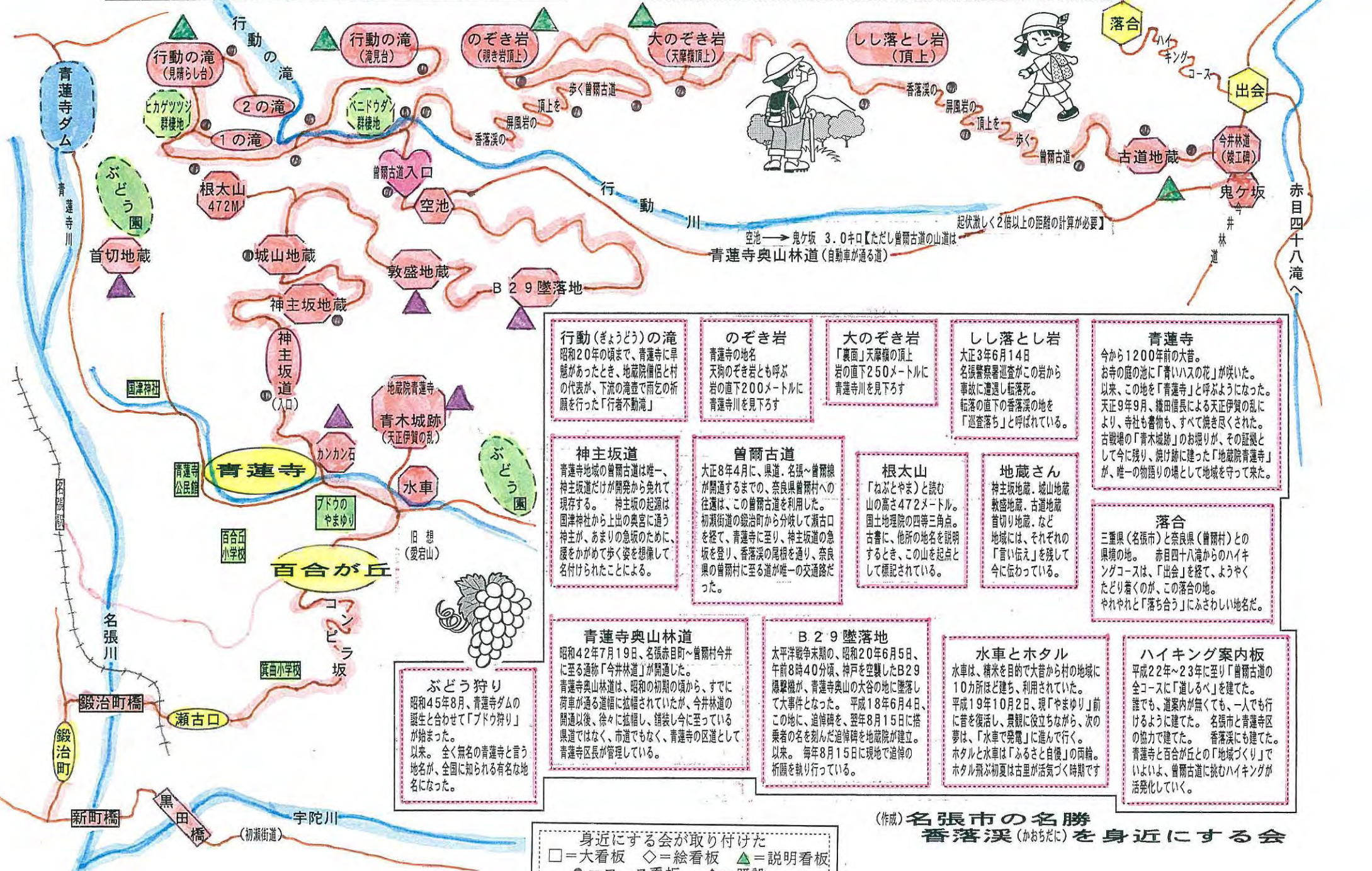


香落溪 (かおちだに) 曾爾古道マップ

【屏風岩の頂上から直下200メートルに香落溪 (裏面) を見る】



<p>行動(ぎょうどう)の滝 昭和20年の頃まで、青蓮寺に早懸があったとき、地藏院僧侶と村の代表が、下流の滝壺で雨乞の祈願を行った「行者不動滝」</p>	<p>のぞき岩 青蓮寺の地名 天狗のぞき岩とも呼ぶ 岩の直下200メートルに 青蓮寺を見下ろす</p>	<p>大のぞき岩 「裏面」天摩嶺の頂上 岩の直下250メートルに 青蓮寺を見下ろす</p>	<p>しし落とし岩 大正3年6月14日 名張警察署巡査がこの岩から 事故に遭遇し転落死。 転落の直下の香落溪の地を 「巡査落ち」と呼ばれている。</p>	<p>青蓮寺 今から1200年前の大昔。 お寺の庭の池に「青いハスの花」が咲いた。 以来、この地を「青蓮寺」と呼ぶようになった。 天正9年9月、織田信長による天正伊賀の乱により、 寺社も書物も、すべて焼き尽くされた。 古戦場の「青木城跡」のお堀りが、その証として 今に残り、堀跡に建った「地藏院青蓮寺」が、 唯一の物語りの場として地域を守ってきた。</p>
<p>神主坂道 青蓮寺地域の曾爾古道は唯一、 神主坂道だけが開発から免れて 現存する。神主坂の起源は 国津神社から上出の奥宮に通う 神主が、あまりの急坂のために、 腰をかためて歩く姿を想像して 名付けられたことによる。</p>	<p>曾爾古道 大正8年4月に、県道、名張～曾爾線 が開通するまでの、奈良県曾爾村への 往還は、この曾爾古道を利用した。 初瀬街道の鍛冶町から分岐して瀬古口 を経て、青蓮寺に至り、神主坂道の急 坂を登り、香落溪の尾根を通り、奈良 県の曾爾村に至る道が唯一の交通路だ った。</p>	<p>根太山 「ねぶとやま」と読む 山の高さ472メートル。 国土地理院の四等三角点。 古書に、他所の地名を証明 するとき、この山を起点と して標記されている。</p>	<p>地藏さん 神主坂地藏、城山地蔵 敦盛地藏、古道地藏 首切り地藏、など 地域には、それぞれの 「言い伝え」を残して 今に伝わっている。</p>	<p>落合 三重県(名張市)と奈良県(曾爾村)との 県境の地。赤目四十八滝からのハイ キングコースは、「出会」を経て、ようやく たどり着くのが、この落合の地。 やれやれと「落ち合う」にふさわしい地名だ。</p>
<p>青蓮寺奥山林道 昭和42年7月19日、名張赤目町～曾爾村今井 に至る通称「今井林道」が開通した。 青蓮寺奥山林道は、昭和の初期の頃から、すでに 荷車が通る道幅に拡張されていたが、今井林道の 開通以後、徐々に拡張し、舗装し今に至っている 県道ではなく、市道でもなく、青蓮寺の区道として 青蓮寺区長が管理している。</p>	<p>B29墜落地 太平洋戦争末期の、昭和20年6月5日、 午前8時40分頃、神戸を空襲したB29 爆撃機が、青蓮寺奥山の大地に墜落して 大事件となった。平成18年6月4日、 この地に、追悼碑を、翌年8月15日に搭 乗者の名を刻んだ追悼碑を地藏院が建立。 以来、毎年8月15日に現地で追悼の 祈願を執り行っている。</p>	<p>水車とホテル 水車は、精米を目的で大昔から村の地域に 10カ所ほど建ち、利用されていた。 平成19年10月2日、現「やまゆり」前 に昔を復活し、景観に役立ちながら、次の 夢は、「水車で発電」に進んで行く。 ホテルと水車は「ふるさと自慢」の両輪。 ホテル飛ぶ初夏は古里が活気づく時期です</p>	<p>ハイキング案内板 平成22年～23年に至り「曾爾古道の 全コースに「道しるべ」を建てた。 誰でも、道案内が無くても、一人でも行 けるように建てた。名張市と青蓮寺区 の協力で建てた。香落溪にも建てた。 青蓮寺と百合が丘との「地域づくり」で いよいよ、曾爾古道に挑むハイキングが 活発化していく。</p>	

身近にする会が取り付けた
□ = 大看板 ◇ = 絵看板 ▲ = 説明看板
● = コース看板 ▲ = 既設

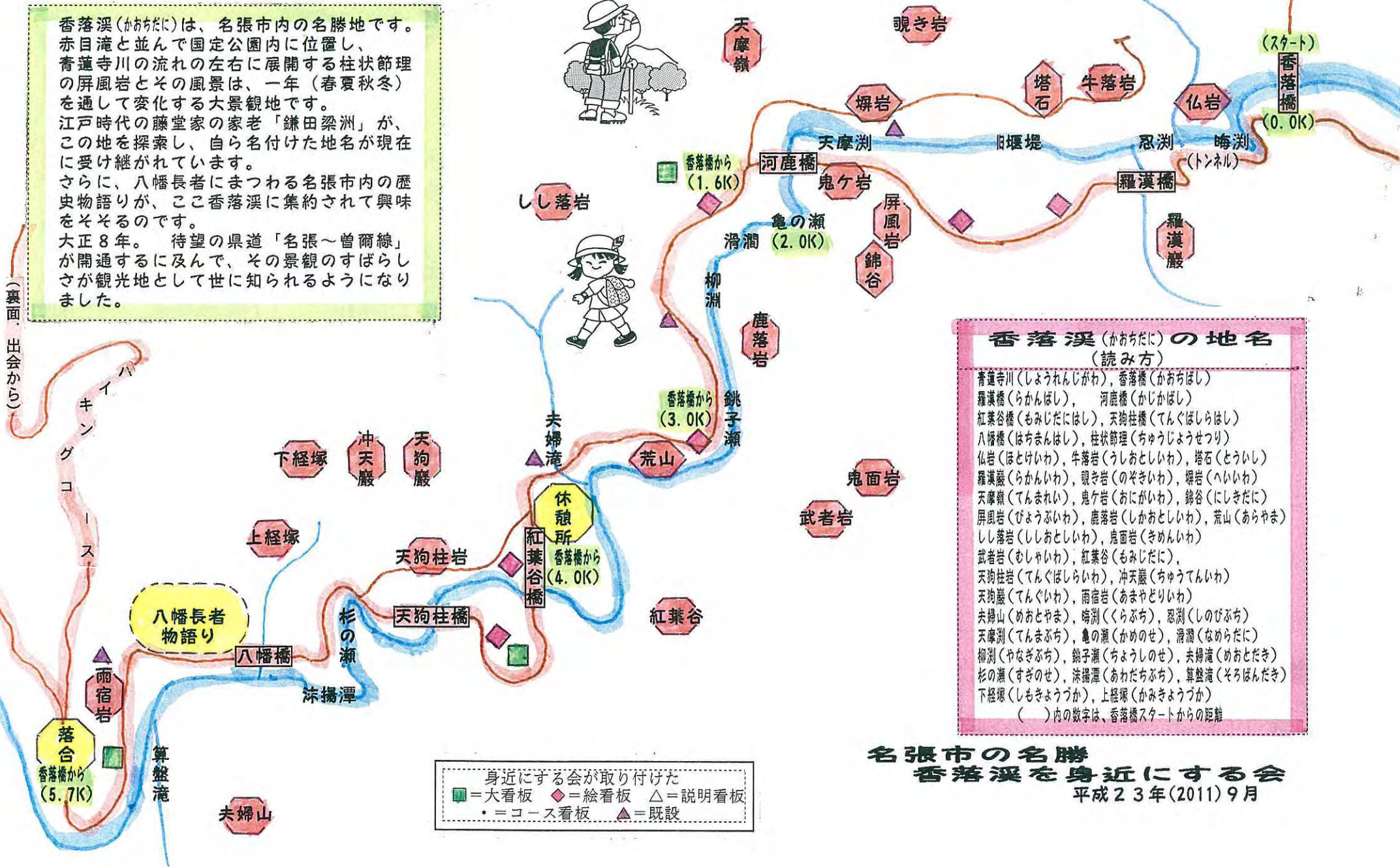
(作成) 名張市の名勝 香落溪 (かおちだに) を身近にする会

名張市の名勝 '香落溪 (かおちだに)' 案内マップ

香落溪(かおちだに)は、名張市内の名勝地です。赤目滝と並んで国定公園内に位置し、青蓮寺川の流れの左右に展開する柱状節理の屏風岩とその風景は、一年(春夏秋冬)を通して変化する大景観地です。江戸時代の藤堂家の家老「鎌田梁洲」が、この地を探索し、自ら名付けた地名が現在に受け継がれています。さらに、八幡長者にまつわる名張市内の歴史物語りが、ここ香落溪に集約されて興味をそそるのです。大正8年。待望の県道「名張～曾爾線」が開通するに及んで、その景観のすばらしさが観光地として世に知られるようになりました。

(裏面 出会から)

ハイキングコース



香落溪(かおちだに)の地名 (読み方)

青蓮寺川(しょうれんじがわ), 香落橋(かおちぼし)
 羅漢橋(らかんぼし), 河鹿橋(かじかぼし)
 紅葉谷橋(もみじだにはし), 天狗柱橋(てんぐぼしらほし)
 八幡橋(はちまんぼし), 柱状節理(ちゅうじょうせつり)
 仏岩(ほとけいわ), 牛落岩(うしおとしいわ), 塔石(とういし)
 羅漢巖(らかんいわ), 覗き岩(のぞきいわ), 塚岩(へいわ)
 天摩嶺(てんまれい), 鬼ヶ岩(おにがいわ), 錦谷(にしきだに)
 屏風岩(びょうぶいわ), 鹿落岩(しかおとしいわ), 荒山(あらかやま)
 しし落岩(ししおとしいわ), 鹿面岩(きめんいわ)
 武者岩(むしやいわ), 紅葉谷(もみじだに),
 天狗柱岩(てんぐぼしらいわ), 冲天巖(ちゅうてんいわ)
 天狗巖(てんぐいわ), 雨宿岩(あまやどりいわ)
 夫婦山(めおとやま), 崎瀨(くろぶち), 忍瀨(しのびぶち)
 天摩瀨(てんまぶち), 亀の瀬(かめのせ), 滑瀨(なめらだに)
 柳瀨(やなぎぶち), 鏡子瀨(ちやうしうのせ), 夫婦滝(めおとだき)
 杉の瀨(すぎのせ), 赤目滝(あかめだちぶち), 算盤滝(そろばんだき)
 下経塚(しもきようづか), 上経塚(かみきようづか)
 ()内の数字は、香落橋スタートからの距離

身近にする会が取り付けた
 ■ = 大看板 ◆ = 絵看板 △ = 説明看板
 ● = コース看板 ▲ = 既設

名張市の名勝 香落溪を身近にする会
 平成23年(2011)9月